

高圧洗浄機ユニット取扱説明書

D A M - 200

2. 運転準備

① 運転条件

使用液	清水
温度範囲	10～40℃
電源	AC200V*50HZ*3相

② 設置

- 本機を水平に設置し各部にネジのゆるみがないか点検します。
- ポンプオイル量がチューブの赤ラインより上にあることを確認します。減っていれば補充します。
オイルはSC級10W-30エンジンオイルです。
- 給水ホース・吐出ホース・洗浄ガンを接続します。
ホースの折れや破損の無いことを確認します。
洗浄ガンのバルブが閉を確認します。
- 電源投入口より電源コードを差し入れ制御盤の端子台に接続します。

3. 始動・運転

- ① 正面点検口を開けて、ポンプ注油穴3カ所に2～3滴注油します。オイルは10W-30エンジンオイル。
- ② 給水ストレーナにゴミが無いか確認します。ゴミがあれば清掃します。
- ③ 制御盤内のブレーカーをONにします。電源ランプが点灯することを確認します。
- ④ 別置きのタンク注水用ポンプを起動して、タンクに水を注水します。満水になると自動的に注水を停止します。
- ⑤ 起動ボタンを押すとポンプが起動して作業に入ります。最初にガンノズルを何回か開閉し、ポンプとホースのエア抜き作業を行って下さい。

【注意】

- 正面点検口が確実に閉まっていないと起動しません。扉を閉めて下さい。
- 操作盤の湯水ランプが点灯していると起動しません。タンク注水を確認して下さい。
- 吐出ホースと洗浄ガンを取り付けていない状態で起動ボタンを押すと高圧水が噴射して危険です。取付を再度確認して下さい。

上記の作業をしてもガンノズルより吐出水が出ない時はただちに停止ボタンを押して作業を中断し、各部の点検を行って下さい。（凍結によるバルブ固着など）

4. 停止・格納

- ① 停止ボタンを押すとポンプは停止します。
停止後ガンノズルの引き金を引いてホース内の圧力を抜いて下さい。この作業を行わないとホース・ガンノズルの消耗をはやめ、ポンプ再起動に負担が掛かる場合があります。
- ② 給水ストレーナが目詰まりすると、ドレンパイプから水が吹き出します。運転を停止しストレーナの清掃を行って下さい。
- ③ タンク内の水位が下がるとポンプが停止し、濁水ランプが点灯します。補給水の確認を行って下さい。
- ④ 作業終了後は、タンクドレンバルブを開けてタンク内の水を排水します。
- ⑤ 制御盤内のブレーカーをOFFにします。
- ⑥ 給水ストレーナの清掃をします。

【注意】

寒冷地では、保温ヒーターの電源を入れてポンプの凍結防止を行って下さい。
ポンプ破損の原因になります。

5. オイル交換

オイル交換時期は次の基準で行って下さい。

第一回 50時間運転後

第二回以後 500運転後
500運転未満の場合でも年に一度

オイル交換要領は、別刷りのプランジャーポンプ取扱説明書を参照して下さい。

ポンプ安全取り扱い注意・ポンプ日常点検事項・ポンプ不調診断は、別刷りのプランジャーポンプ取扱説明書に記載されています。必ずお読み下さい。